

OTAKE



ホームページ・Facebook・Instagram

未来を拓く 大竹JCI



2021. 12 vol.27



CONTENTS

- P1、2…2021年度 卒業生対談
- P3……卒業生からのメッセージ
- P4……ふるさとスマイル委員会事業
「おおたけスマイル文化祭」
- P5……委員長の想い
- P6……2021年度大竹青年会議所の軌跡
- P7……What is 青年会議所

皆様のご支援に、心から
感謝と御礼を申し上げます
一年間ありがとうございました
2021年度 会員一同



専務理事
河内 信治

人間力開発部門 副理事長
田宮 佑一

トランジション委員会 委員
前田 研一

トランジション委員会 委員
藤本 崇晃

小田（以下、司会） 皆様、ご卒業おめでとうございます。まずは、青年会議所に入会しこれまでを振り返っていただき印象に残っていることを教えてください。
田宮 私は、広島ブロック協議会のブロックアカデミーですね。2016年入会で、その年が大竹青年会議所主管のブロックアカデミーだったんです。当時4人新入会員がいて、1泊2日で参加してこれがJCなんだと学びました。あれは1年目だったからか、とても印象に残っていますね。体力系セミナーで三倉岳に初めて登ったんです。大竹青年会議所が主管ということで、大竹の会員がグループリーダーとなって登山をしたんですが、それまで他のLOMの方との交流がない中で、当時の理事長や理事の方々と登山して交流をしたということは、やっぱり今思い出しても一番印象に残っていますね。人の多さにも驚きました。

河内 私は、2年目の2018年かな。その年に創立50周年事業があつて、当時の河野委員長が行っていた対外事業と並行して、さらにブロックの役員として出向していましたから、時間のすべてを青年会議所に使ったという1年だったので、何かしらに参加したのですが、やった後の達成感はずっとあります。この達成感を得ることが出来た1年はターニングポイントだったと思います。そう考えると、この2018年がすべてのものになっていく印象ですね。藤本君はどうですか。この1年は新入会員が前に出たという印象があります。

藤本 今まで、こういう組織というものに所属したことがなかったんです。責任の重さや人前に出て話す機会とか、思い返すと、大変だったとは思いますが、正直面白かったという思いの方が強いですね。やはり、刺激が違いすぎました。一番というわけではないですが、印象に残っていることは聞かれると、新入会員セミナーかな。居酒屋の青春は網代木直前理事長に助けてもらったことは新鮮でしたね。あとは、4月のコンペ例会ですね。河内専務理事もチームにいてくれましたけど、みんな一生懸命に手を貸してくれたので、「振り切って頑張ろう！」という気持ちになりました。こういう機会をもらうことが出来て、とても良い経験にもなりましたし、面白かったという印象が強いですね。当日は、広島ブロック役員団の方が来られた公式訪問例会でしたが、そのあと交流する機会があつて、声をかけられたのは嬉しかったです。前田委員もそうですけど、1年しかない中でいろいろなことを経験させてもらったなと思います。

河内 非日常の連続ですよ。私も、思い返してみても面白かったなと思います。

前田 僕も、新入会員セミナーと、4月例会が思いに残っていますね。青年会議所がどんなものかわからないまま参加していたけど、ここで青年会議所を少し知ることが出来たなと思っています。

河内 1年間という期間だからこそ、よ

りそう感じさせたんでしょね。

藤本 田宮副理事長や河内専務は、長い期間活動しているから、委員長の間もあるんですよ。今と比べてどちらが大変でした。

河内 委員長よりも、今の方が大変ですね。委員長の時はやるしかないというか。終わったたら早かったなと思います。だけど今は違います。今は、人を見ないといけない。これは青年会議所だけでなく、社会に出れば、いつかはあることだと思います。役職をもらい、社会で役に立つための練習だと思えるかな。そういう経験が出来るのが、青年会議所の良い所だと思いますね。

司会 いろいろな経験をすることで勉強になり、それが次に繋がるということですね。では、ご自身が入会して何を感じ、どこが変わったか教えてください。

河内 委員長を経験して、自信を持つことが出来たことかな。青年会議所でなかったら逃げていたかも。でも最後までやり切ったことは本当に自信になったと思う。

前田 私は、何年も経験していないけど、今までは頼まれた事を避けていたりしたんです。だけど、今は「やれることはやろう」という気持ちに変わったことは大きいことかなと思います。今、色々なことで迷っている人はいると思います。年を取るのは早いので、後でやろうとして



も、今しか出来ないことがあります。入会して損はないです。これだけは、今日伝えたかった(笑)

田宮 前田委員は、もし来年があったら委員長を経験してみたいですか。
前田 そうですね。1回は経験してみたかったですね。

藤本 僕が変わったことは、人前で話すことは少し苦手だったけど、苦痛ではなくなったことは大きいですね。周りを見て、落ち着いて話をすることが出来るようになったかな。それと、やはり責任感が強くなったということがあります。田宮副理事長や河内専務に推薦してもらい入会したから、二人の株を下げないようにと必死でしたね。
司会 田宮副理事長はいかがですか。

「ご自身が変わったなと思うところはありますか。」

田宮 ないですね(笑)

河内 良い意味で変わっていないよね(笑)

田宮 街には色々な組織があるわけ。ただ、青年会議所に入らないです。それはどういう組織かわからないです。先入観で判断することもなくなりました。意味のあることをしている、街のために活動しているということがわかっただけでも良かったのかな。やはり、団体に所属している人は、一つの指針があつて、それに向かつて行動しているということはずいぶんいいことですね。そういう考え方に変わったことですかね。

司会 入会して所属したからこそ、わかることは多々ありますからね。では、最後に20代、30代の青年経済人に向けたメッセージをください。

河内 私が伝えたいことは、社会では事業計画や予算組みなど、実務的なスキルが必要だと思います。しかし、それだけではなくて、相手のことを考えて生きていかななくてはならないと思います。人を思う気持ちがないと、孤独になりつづけてしまうと思います。その考えを覚えてもらうことが出来るのは、やはり青年会議所になるのかなと思います。人のためにという大切な感情を教えるもらえる会かなと思います。
司会 組織に入って多くのことを経

験することで世界を広げることができるといふことですね。

河内 会社でやるのは当たり前。生活していく中で必要なことだけど、それ以外のところで学ぶ機会はなかなかないと思います。

田宮 これは、先日先輩にインタビューに行ったときに感じたことだけど、やはり、当時の思い出は覚えているんですよ。それも、とても楽しそうに話しをしてくれるんです。その時、一生懸命やったことは人に自慢したくなるんだなと思いました。
河内 何年後かに集まっても、きっと「こういふことがあつたよね」など、話題は青年会議所のことなんだろうなと思いますよ。

司会 それだけ、濃厚な時間を過ごしてこられたということですね。勉強になります。卒業生の皆様、本日は貴重なお話をさせていただきました、誠にありがとうございました。



今後一層のご活躍をお祈りいたします



私は、2016年入会でしたので6年間を青年会議所会員として過ごしました。この6年間、公私において本当にいろいろなことがありました。今、気持ちはやり切ったことでホッとしています。

この文章を書くにあたり、入会前の自分と卒業する自分で何が変わったのか考えました。恐らくですが経験値が増したことです。それが自信になり、入会前の自分より前に出ることが出来ているのではないのでしょうか。他にも細かいことと言えば、作成文書において確認できるようになった。1日の時間の使い方をしっかりとスケジュールするようになった。マンパワーの力は壮大。お酒の席での失敗はほどほどに。とまだまだ書けばたくさんあります。この会での学びをしっかりと会社・地域・家庭に還元していくことが私の役目だと思いますので、今後もまだまだ続く人生を謳歌します。

こんな私でもやり遂げることが出来ました。この一言に尽きます。入会当初よりは後ろ向きな考え方をしておりました。常にスリープ・退会したいと何度も何度も口にしておりました。ですが、最後まで在籍し役職も担いました。できる・できない、当然個人差があります。成長したいのであれば、できないことはやらないのではなく、ほんの少し背伸びをしてみてください。「自分の身の丈にあっていない環境に飛び込む」これが成長するきっかけになります。

皆様、ありがとうございました。お先に失礼します。

田宮 佑一 君 1981年10月11日生まれ 株式会社田宮事務器 2016年入会
 2016年度 未来開拓若者育成委員会 委員 2019年度 会員拡大委員会 委員長
 2017年度 ふるさと活性委員会 委員 2020年度 ふるさと創生委員会 副委員長
 2018年度 コミュニティデザイン創案委員会 委員 2021年度 人間力開発部門 副理事長



私に与えられた5年の活動期間中、全力で青年会議所活動に臨んできたつもりです。楽しかったこと、辛かったこと、全てが私自身の成長に繋がっています。

青年会議所では、社会人として真に必要なことを学ぶことができます。それは事業計画や予算組などの実務的なことだけではなく「相手を想う心」「やり遂げる意志」といった心の持ち方だと私は思っております。20歳から40歳までの限られた時間の中で、仲間と共に自分自身を磨き、見つめなおす環境に身を置けるのは青年会議所の他にありません。最後になりますが、活動にご理解いただいた会社、家族、活動を共にした仲間たち、関わった全ての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

河内 信治 君 1981年12月16日生まれ 三興化学工業株式会社 2017年入会
 2017年度 指導力開発委員会 委員 2019年度 強い絆育成委員会 委員長
 2018年度 コミュニティデザイン創案委員会 委員 2020年度 社会開発部門 副理事長
 広島ブロック協議会 次世代育成委員会 幹事 2021年度 専務理事



入会して1年という短い期間ではありましたが、様々なことを学ばせて頂きました。それは責任感であったり、ふるさとに対する熱い想いであったり、物怖じしない胆力だったりします。

尊敬出来る仲間達と活動出来たこの1年は私の人生の中でもっとも学びが多く、最も濃い1年だと断言出来ます。自分と同世代で熱い想いを持った尊敬できる仲間達を探す上で青年会議所ほど適した組織はありません。もしも青年会議所に興味を持っている人がいるならばどうか飛び込んでみて下さい。決して後悔はしません。

最後に短い期間でしたが一緒に活動して頂いた皆様に心から感謝申し上げます。青年会議所の益々の光り輝く活躍を楽しみにしております。

藤本 崇晃 君 1981年10月30日生まれ 有限会社富士宣伝 2021年入会
 2021年度 トランジション委員会 委員 2021年度 ブロック野球大会キャプテン



普段の仕事では、同年代の人と接することがほとんどない私にとって、青年会議所は、同年代の方たちと交流できる数少ない場所であり、活動は楽しいものでした。

会員の中には事業をされている方も多く、お金に対しての考えかたや仕事に対する思いを伺うことは刺激にもなりました。短い期間ではありましたが、ここでの活動は大変有意義なものであったと思います。皆様、ありがとうございました。

「入会して損はない！」

OBの方がおっしゃっていた言葉ですが、本当にそうだと思います。みなさんぜひ入会してください。

前田 研一 君 1981年3月14日生まれ 税理士法人前田会計事務所 2021年入会
 2021年度 トランジション委員会 委員

対外事業

子どもたちに、
今しか出来ない思い出を。

「おおたけスマイル文化祭」を開催しました 2021.11.3 (水)

昨年より続く新型コロナウイルスの影響により、運動会や学習発表会などの学校行事、お祭りやイベントなどの市内行事など子ども達の思い出となる行事が、軒並み中止となっています。大人になってからの1年間と、子どもの時の1年間の重さは、大人が想像するよりも大きな違いを持ちます。

先行きの見えない社会情勢だからこそ、地域の大人たちが応援しているのだというメッセージを地域の子も達に伝えたい。

また、子ども達の笑顔と行動は、地域の大人たちに大きな活力を与えます。本年度、大竹青年会議所では、子ども達に大竹を好きになってもらい、笑顔の思い出を作ってもらいたいという願いから「おおたけスマイル文化祭」を企画しました。

子ども達に笑顔の思い出を作ろうを合言葉に大竹市教育委員会様にご後援頂き準備をしてきました。さらには、地域住民の皆様より多くのご協賛を賜り、多くの方にも準備段階からご協力を頂くことで、当日を迎えることが出来ましたことを心より御礼申し上げます。また、コロナ禍で活動が制限され、準備時間も少なかったかとは思いますが、おおたけスマイル文化祭にご参加いただいた出演者の皆様、ご指導いただきました先生方、支えていただきましたご家族の皆様、誠にありがとうございました。

これからも、私たち大竹青年会議所は明るい豊かな社会の実現に向け、会員一同協力しふるさとの未来を創る事業を展開して参ります。



チラシ・ポスターデザイン用



スタッフTシャツデザイン用



ふるさとスマイル委員会
委員長 齊藤 正典 君

おおたけスマイル文化祭では、我々スタッフはもちろんです、パフォーマンスしてくれた子ども達並びにご来場の皆様に沢山の笑顔をし、ふるさと大竹での楽しい思い出を作る事が出来たと思います。この思い出をきっかけに、ひとりでも多くの子も達や地域の大人がふるさと大竹に愛着を持って頂けたのではないかと思います。準備が大変でしたが、委員会メンバー並びに会員の皆様また協力者の方、数多くの方々にご支援ご協力頂き開催する事が出来ました。皆様、本当にありがとうございました。

社会開発部門
副理事長 中野 友博 君

まずは何より、事業当日に怪我、事故なく終えたことに安堵しております。出演してくれた子ども達、ご観覧頂いた皆様、ご協賛・ご協力頂いた皆様、会員の皆様のおかげを持ちまして、たくさん笑顔が灯った素晴らしい事業でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、市内行事が中止や規模縮小を余儀なくされる中で、独自のコロナ対策マニュアル作成や、公式LINEの活用など、入念な準備を行ってまいりました。そして何より齊藤委員長熱い想いがあったからこそ成し遂げることが出来ました。感動をありがとうございました。

今年度、委員長として活躍した3名の想い



戦略総務推進委員会
栗本 尚明 委員長



ふるさとスマイル委員会
齊藤 正典 委員長



トランジション委員会
前田 利祥 委員長

社会開発部門

ふるさとスマイル委員会

委員長 齊藤 正典 君

本年度ふるさとスマイル委員会は、愛着と繋がりにより笑顔が溢れるまちにしていく事を目的に活動を行ってまいりました。楽しい思い出を作り、ふるさとへ愛着を持ってもらう為に頑張つてまいりました。

当委員会の船出となる3月例会では、講師に株式会社小城六右衛門商店 取締役専務 小城和之様にお越し頂き、ご講演にてふるさとへの愛着を持つ事の重要性を学んで頂きました。10月第2例会では、大竹市まちづくり基本構想策定のための市民アンケート調査報告書を基に、大竹の課題解決をグループワークにて議論し、地域の人との繋がりを持つ事の重要性を学んでいただきました。11月3日の「おたけスマイル文化祭」では、新型コロナウイルス感染症の影響により地域や学校などの行事が減り、発表の機会が少なくなつた子ども達に発表の場を作りました。我々スタッフはもちろんですが、子ども達とご来場の皆様に沢山の笑顔を灯し、楽しい思い出を作る事が出来たと思います。未来を背負う子ども達にふるさと大竹に愛着を持って貰うきっかけに繋がったと思います。

今年、活動を行う際に多くの方々にご支援・ご協力頂きました。僕自身、人との繋がりがどれ程大事かを学びました。皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

人間力開発部門

トランジション委員会

委員長 前田 利祥 君

当委員会では、信頼を共に築けるリーダーとなるために、将来の見通しを立て、それに必要な力を理解し、身に付けるための努力をすることが重要だと考えました。そして、コミュニケーションを通し、互いの考えや想いを共有することで、互いを理解し信頼を築ける人財となり、会員同士が切磋琢磨し成長することで、家族や会社を含めた地域に多くの学びが還元されることを願い、活動をしてきました。

将来という最終目標を見定め、自身の想いを発信するために必要な表現力を学び、想いを受け止めるために共感力を学びました。場を提供する側としては、至らぬ点もあつたかもしれませんが、しかし、一石を投じたことで、皆様に考えるきっかけを投じることができたと確信しています。

私たちが進む道には分岐点が多く存在し、どの道に進むにも選択することを迫られます。悩み考えた先が苦勞の連続だとしても、手を差し伸べ、共に考えてくれるのが仲間であり、道を切り開くのは知識と経験だと思えます。

委員長として活動したこの一年間、今後の活動に自信を与えてくれました。このような経験をさせてくださいましてありがとうございます。仲間と共に今後も邁進してまいります。

総務部門

戦略総務推進委員会

委員長 栗本 尚明 君

本年度、私たち戦略総務推進委員会は会員の魅力をいかに伝えるかに重きを置き活動してまいりました。SNS投稿や美化活動を行うことで、少しでも多くの市民の方に普段の青年会議所会員の姿を知っていただき、身近に感じていただければと思います。外に向けた発信をしてきました。

本年度も昨年より続く新型コロナウイルス感染症拡大のため多くの制限がありました。しかし、その中でも出来ることを探し活動することは、ふるさと大竹市をより良くするための一助になっていると今でも信じて活動しています。

志をもち、継続し活動することは一人では難しいことだと思えます。継続し活動するために必要なものは、想いを共有する仲間だと思えます。青年会議所には考えは違えど、目的は同じ仲間がいます。自身の志を共有し、自己成長や会社の発展のために経験しておくことは、とても大切なことだと思えます。昔から経験に勝るものはないという言葉があります。本当にそう思います。もし少しでも興味があるのであれば是非、一緒に活動しましょう。

最後になりますが、ご協力いただきました会員の皆様、支えてくれた委員会メンバーの皆様、また活動に理解してくれた家族や美化活動に協力してくださった皆様、誠にありがとうございました。

年表 2021年度 大竹青年会議所の軌跡



- 1月 7日 新春祈願祭
新年例会
- 17日 美化活動
- 22日 京都会議 (Web開催)
- 23日
- 24日
- 28日 1月通常総会



- 2月 6日 2月例会
- 9日 大竹市教育委員会訪問
(おおたけスマイル文化祭協力依頼)
- 16日 おおたけスマイル文化祭に協力して
いただける方々と初顔合わせ
- 21日 美化活動



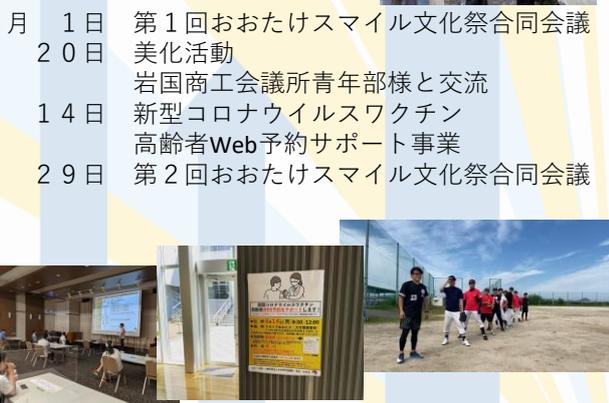
- 3月 6日 3月例会
- 21日 美化活動



- 4月 6日 ロータリークラブ卓話 (高橋理事長)
- 7日 4月ブロック会長公式訪問例会
- 9日 広島県主催の意見交換会
湯崎知事とひろしまの未来を語る in 大竹に参加
- 17日 例会講師として、
気仙沼青年会議所4月例会に参加し講演
(高橋理事長、中野副理事長)
- 18日 美化活動
- 24日 LOM新入会員セミナー



- 5月 7日 5月例会
- 6月 1日 第1回おおたけスマイル文化祭合同会議
- 20日 美化活動
岩国商工会議所青年部様と交流
- 14日 新型コロナウイルスワクチン
高齢者Web予約サポート事業
- 29日 第2回おおたけスマイル文化祭合同会議



- 7月 7日 7月例会
- 10日 広島ブロック野球予選大会
- 17日 サマーコンファレンス
- 18日
- 26日 美化活動
- 27日 第1回異業種交流会 開催



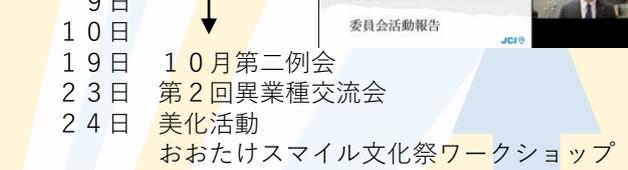
- 8月 7日 8月例会
- 24日 第3回おおたけスマイル文化祭合同会議
- 26日 8月通常総会
- 31日 次年度理事役員顔合わせ



- 9月 12日 広島ブロック大会
- 19日 中国地区コンファレンス (Web開催)
- 29日 第4回おおたけスマイル文化祭合同会議



- 10月 7日 岩国青年会議所・大竹青年会議所合同例会
- 7日 全国大会
- 8日
- 9日
- 10日
- 19日 10月第二例会
- 23日 第2回異業種交流会
- 24日 美化活動
おおたけスマイル文化祭ワークショップ



- 11月 3日 おおたけスマイル文化祭
- 6日 11月例会
- 21日 美化活動
- 11月第二例会
- 27日 第3回異業種交流会



- 12月 7日 卒業式・納会
- 19日 美化活動



一般社団法人大竹青年会議所

2022年度 入会案内

新入会員募集中

活動の三信条を「修練・奉仕・友情」とし、「明るい豊かな社会」の実現を目指し活動を行っています。

大竹青年会議所では事業への参画を通じ、

限られた時間と予算の中で結果につながるプロセスを学ぶことができます。

また、様々な研修プログラムを通じて、

自身のスキルアップにつながります。

志を同じくする多くの仲間と真剣に取り組むことで、

ふるさとの発展に貢献できます。

ぜひ私たちと一緒に活動しましょう！

～編集後記～

広報誌12月号では、本年度を迎える卒業する4名の会員と各委員長（社会開発部門、人間力開発部門、総務部門）にスポットを当て作成いたしました。青年会議所は40歳までの人しか入会することが出来ず、40歳を過ぎてからは入会することは出来ません。言わば期限のある青年経済人の集まりです。

これまで、在籍された諸先輩方が紡いでこられた想いと歴史。そして、本年度卒業する会員はどのようなことを考え期待し青年会議所に入会し今日まで活動してきたのか。また、青年会議所の活動に参加することで何を達成することが出来たのか、青年会議所とはどんなところだったのか。広報誌では、会員一人ひとりをより身近に感じていただき、青年会議所とは何をしているところなのかを知っていただきたいと考えて作成しています。また、この度の広報誌では青年会議所を知っていただくために、今年1年間の活動年表を作成しました。大竹青年会議所が普段どのようなことを考え、会員はどのような活動をしているのかを知っていただけたのではないのでしょうか。

私は、日常に変化を求めて青年会議所に入会しました。日常を充実させることは、自分自身に刺激を与えることが出来ると考えています。プライベートや趣味を充実させることも一つの手段だと思います。しかし、自分の知識や経験がすべてではありません。普段何気なく使用しているマナーやルールは、これからも続く社会の中で一歩外に出れば、それは普通ではないかもしれません。自分の世界は、自分で作っていると考えています。この広報誌をご覧の皆様、視野を広げてみてください。世界は無限に広がっています。多くの経験できる場所が青年会議所だと思います。どんな些細なきっかけでも構いません。大竹青年会議所を知ろうとしてみてください。経験することは、決して損ではありません。経験や知識は持つに限りです。

最後に、大竹青年会議所の活動は今年で54年目となります。私たちは、これまで諸先輩方から受け継いだ想いを紡ぎながら活動しています。明るい豊かな社会の実現のため、当会は日々活動しています。ふるさとを思い考え、より良くなるためにはどうすれば良いかを皆で考え実践しています。この広報誌を見ていただき、一人でも多くの方が大竹青年会議所に興味を持っていたければ幸いです。

1年間ありがとうございました。

一般社団法人大竹青年会議所 戦略総務推進委員会 委員長 栗本 尚明